

どう考え

道徳的価値について

子供たちが自ら考え

実際に行動できるようになること

どう動く

目的意識の共有

道徳科の時間—授業づくり

絶対解から納得解へ 人間理解・他者理解・価値理解

研究の視点1

ICTの効果的活用の工夫
…主体的な学びの視点
導入・展開・終末のそれぞれの場面において、ICTの効果的な活用の工夫



研究の視点2

「中心発問」+「問返（問い返し）」により思考を深める工夫
…対話的な学びの視点
本時のねらいに迫るための中心発問に加えて、自己内対話を行うような問い返しの工夫



研究の視点3

振り返り振返りの交流の充実
…深い学びの視点
感じたこと・考えたことなどを言語化し、交流することにより、深い学びへつなげる



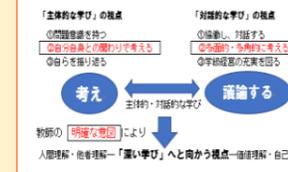
校内研修会

3つの研究の視点について具体的にどのように取り組むかを中心に研修

京都産業大教授 柴原弘志氏を講師に迎えて校内研修



研修資料 授業づくり編



○重層的発問 ⇒ 問い返しにより本質に向かわせる。生徒の回答の中に、その生徒の道徳性がある。

- ① 確認・焦点化 … きまりは何のためにあるの？ 困ったことになるのは誰？
- ② 根拠・理由 … なぜ、そう思うの？ どうしてそう考えたの？
- ③ 言い換え … それってどういうこと？ ということとは？
- ④ 具体化 … そうするには何をすればいいの？ その場合、自分ならどうする？
- ⑤ 比較・対比 … ○○と○○との違いは？ 同じようなことは他にもある？
- ⑥ 批判・反例 … 本当にそう言えるの？ 礼儀正しくするとみんな楽しめなくなるの？
- ⑦ 条件変更 … ○○の立場から見るとどうなる？ ○○をしなかったらどうなっていたの？

絶対解から納得解へ導く

自己を見つめる
=自分のこととして、自分との関わりで考える

広い視野から
多面的・多角的に考える

道徳的諸価値の理解を基に

自己の生き方についての考えを深める

学校生活における道徳教育

事後指導による価値づけ 『本物に触れる』 主体性を育む

生徒会活動

よりよい地域社会づくりに向けて実践

地域清掃

きれいな町づくりに取り組む



「コロナに負けるなプロジェクト」

地域の商店街へ全校から励ましのメッセージを届ける



交通安全啓発サポート

地域の交通安全に主体的に関わる



体育祭

目標に向かう集団活動の中から責任感、協力、友情を育む



学校行事

目的を生徒と教師ともに共有して、行事を実施



防災訓練

防災、減災について、私たちができること



1年 植物観察会や歴史探索

ふるさとの自然や文化を学ぶ



総合的な学習の時間

2年 職場体験

ふるさとと自分の将来を考える



3年 ブドウ狩り、新聞記事から見るSDGs

SDGsの視点からふるさとや自分の将来を見つめる



道徳通信

家庭へ生徒アンケートの結果や道徳科の授業の紹介等を行う



親子道徳

生徒と保護者の間で1つのテーマを題材にして思いや考えを交流する



家庭・地域社会との連携

家庭・地域の一員としての自覚

家庭での役割

家族の一員として家庭の仕事に責任をもつ

まず、お手伝いありがとう。一生懸命がんばっていたこと嬉しかったです。家族で将来の夢を話したことが心に残っています。成長したなあ。しみじみしてしまいました。これからもたくさん話そうね。

連休中のお手伝い～家族の一員として～

ゴールデンウィーク中、家で過ごす時間が長くなりました。家族の一員として、自分でできることを見つけて取り組みました。

どう関わるか

いじめ撲滅宣言一人をつらぬく

- 1 私たちは、相手の気持ちを考えて、差別や偏見のないバカ中を作ります。
- 2 私たちは、コミュニケーションを取り合い、お互いの気持ちを尊重し合える居心地の良いバカ中を作ります。
- 3 私たちは、お互いのよさを認め合い、みんなが輝き合える生徒会になります。

令和4年7月19日 生徒会

地域社会との連携

商工会女性部との連携 - シトラスリボンを作り地域に配布

